



2024年2月14日

各 位

会社名 イーソル株式会社
 代表者名 代表取締役社長 長谷川勝敏
 (コード番号：4420 東証スタンダード)
 問合せ先 社長室長 落合 藤夫
 (TEL. 03-5365-1560)

(訂正)「2022年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2023年2月14日に発表した「2022年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、記載内容の一部に誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。

記

1. 訂正理由

「2022年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」につきまして、提出後に数値の誤りが判明したため、提出済みの決算短信を訂正するものであります。

2. 訂正内容(訂正箇所には下線を付しております。)

2022年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)(サマリー情報)

1. 2022年12月期の連結業績(2022年1月1日～2022年12月31日)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

[訂正前]

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2022年12月期	百万円 <u>154</u>	百万円 <u>△82</u>	百万円 △111	百万円 3,867
2021年12月期	△199	△137	△111	3,902

[訂正後]

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2022年12月期	百万円 <u>161</u>	百万円 <u>△89</u>	百万円 △111	百万円 3,867
2021年12月期	△199	△137	△111	3,902

2022年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)(添付資料 3ページ)

1. 経営成績等の概況

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

[訂正前]

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において営業活動の結果得られた資金は 154 百万円となりました。これは主に売上債権及び契約資産の減少額 156 百万円、その他の負債の増加額 206 百万円等の資金増加要因が、税金等

調整前当期純損失 250 百万円、仕入債務の減少額 48 百万円等の資金減少要因を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において投資活動の結果使用した資金は 82 百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出 60 百万円、無形固定資産の取得による支出 24 百万円等によるものであります。

[訂正後]

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において営業活動の結果得られた資金は 161 百万円となりました。これは主に売上債権及び契約資産の減少額 156 百万円、その他の負債の増加額 206 百万円等の資金増加要因が、税金等調整前当期純損失 250 百万円、仕入債務の減少額 48 百万円等の資金減少要因を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において投資活動の結果使用した資金は 89 百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出 60 百万円、無形固定資産の取得による支出 24 百万円等によるものであります。

2022 年 12 月期 決算短信〔日本基準〕(連結) (添付資料 10 ページ)

3. 連結財務諸表及び主な注記

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

[訂正前]

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021 年 1 月 1 日 至 2021 年 12 月 31 日)	当連結会計年度 (自 2022 年 1 月 1 日 至 2022 年 12 月 31 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失 (△)	315,765	△250,810
減価償却費	72,999	80,446
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,544	2,807
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	—	3,870
受取利息及び受取配当金	△9,861	△10,062
為替差損益 (△は益)	△1,685	47
有価証券評価損益 (△は益)	△1,608	—
固定資産除却損	14,559	192
賃貸借契約解約損	16,373	—
助成金収入	△221,783	△94,250
売上債権の増減額 (△は増加)	△332,506	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	—	156,325
棚卸資産の増減額 (△は増加)	36,499	△29,004
仕入債務の増減額 (△は減少)	143,909	△48,961
その他の資産の増減額 (△は増加)	△52,404	△2,948
その他の負債の増減額 (△は減少)	△134,674	206,832
その他	2,138	1,529
小計	△149,732	16,013
利息及び配当金の受取額	9,860	10,061
助成金の受取額	220,165	94,250
法人税等の支払額	△280,001	△11,342
法人税等の還付額	—	45,606
営業活動によるキャッシュ・フロー	△199,708	154,588
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0

有形固定資産の取得による支出	△73,242	△60,643
無形固定資産の取得による支出	△56,912	△24,587
資産除去債務の履行による支出	△28,660	—
敷金及び保証金の回収による収入	38,517	120
敷金及び保証金の差入による支出	—	△579
預り保証金の返還による支出	△13,014	—
その他	△4,074	2,916
投資活動によるキャッシュ・フロー	△137,387	△82,775
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△111,470	△111,606
財務活動によるキャッシュ・フロー	△111,470	△111,606
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,961	4,336
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△445,603	△35,456
現金及び現金同等物の期首残高	4,348,131	3,902,527
現金及び現金同等物の期末残高	3,902,527	3,867,071

[訂正後]

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失 (△)	315,765	△250,810
減価償却費	72,999	80,446
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,544	2,807
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	—	3,870
受取利息及び受取配当金	△9,861	△10,062
為替差損益 (△は益)	△1,685	47
有価証券評価損益 (△は益)	△1,608	—
固定資産除却損	14,559	192
賃貸借契約解約損	16,373	—
助成金収入	△221,783	△94,250
売上債権の増減額 (△は増加)	△332,506	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	—	156,325
棚卸資産の増減額 (△は増加)	36,499	△29,004
仕入債務の増減額 (△は減少)	143,909	△48,961
その他の資産の増減額 (△は増加)	△52,404	△2,948
その他の負債の増減額 (△は減少)	△134,674	206,832
その他	2,138	8,342
小計	△149,732	22,825
利息及び配当金の受取額	9,860	10,061
助成金の受取額	220,165	94,250
法人税等の支払額	△280,001	△11,342
法人税等の還付額	—	45,606
営業活動によるキャッシュ・フロー	△199,708	161,400
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△73,242	△60,643
無形固定資産の取得による支出	△56,912	△24,587
資産除去債務の履行による支出	△28,660	—
敷金及び保証金の回収による収入	38,517	120
敷金及び保証金の差入による支出	—	△579
預り保証金の返還による支出	△13,014	—
その他	△4,074	△3,896
投資活動によるキャッシュ・フロー	△137,387	△89,587

財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△111,470	△111,606
財務活動によるキャッシュ・フロー	△111,470	△111,606
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,961	4,336
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△445,603	△35,456
現金及び現金同等物の期首残高	4,348,131	3,902,527
現金及び現金同等物の期末残高	3,902,527	3,867,071

2022年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）（添付資料 13 ページ）

3. 連結財務諸表及び主な注記

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

【セグメント情報】

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

〔訂正前〕

当連結会計年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント		
	組込みソフトウェア 事業	センシング ソリューション事業	合計
売上高			
顧客との契約から生じる収益	8,429,061	556,994	8,986,056
ソフトウェア製商品	1,906,440	—	1,906,440
ハードウェア製商品	—	556,994	556,994
エンジニアリングサービス	6,522,621	—	6,522,621
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	8,429,061	556,994	8,986,056
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,580	—	13,580
計	8,442,642	556,994	8,999,637
セグメント損失	△220,439	△19,772	△240,161
セグメント資産	2,870,432	386,478	3,256,910
その他の項目			
減価償却費	72,115	8,330	80,446
有形固定資産及び無形固定資産の 増加額	<u>189,035</u>	<u>15,100</u>	<u>204,135</u>

[訂正後]

当連結会計年度（自 2022 年 1 月 1 日 至 2022 年 12 月 31 日）

（単位：千円）

	報告セグメント		
	組込みソフトウェア 事業	センシング ソリューション事業	合計
売上高			
顧客との契約から生じる収益	8,429,061	556,994	8,986,056
ソフトウェア製商品	1,906,440	—	1,906,440
ハードウェア製商品	—	556,994	556,994
エンジニアリングサービス	6,522,621	—	6,522,621
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	8,429,061	556,994	8,986,056
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,580	—	13,580
計	8,442,642	556,994	8,999,637
セグメント損失	△220,439	△19,772	△240,161
セグメント資産	2,870,432	386,478	3,256,910
その他の項目			
減価償却費	72,115	8,330	80,446
有形固定資産及び無形固定資産の 増加額	<u>77,578</u>	<u>7,351</u>	<u>84,930</u>

2022 年 12 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）（添付資料 14 ページ）

3. 連結財務諸表及び主な注記

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

【セグメント情報】

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

[訂正前]

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	72,999	80,446	—	—	72,999	80,446
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	89,626	<u>204,135</u>	—	—	89,626	<u>204,135</u>

[訂正後]

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	72,999	80,446	—	—	72,999	80,446
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	89,626	<u>84,930</u>	—	—	89,626	<u>84,930</u>

訂正後の資料はこちらからご覧ください。

<https://www.esol.co.jp/ir/library/result.html>

以 上